

SG-2110RS によるプロセス管理改善

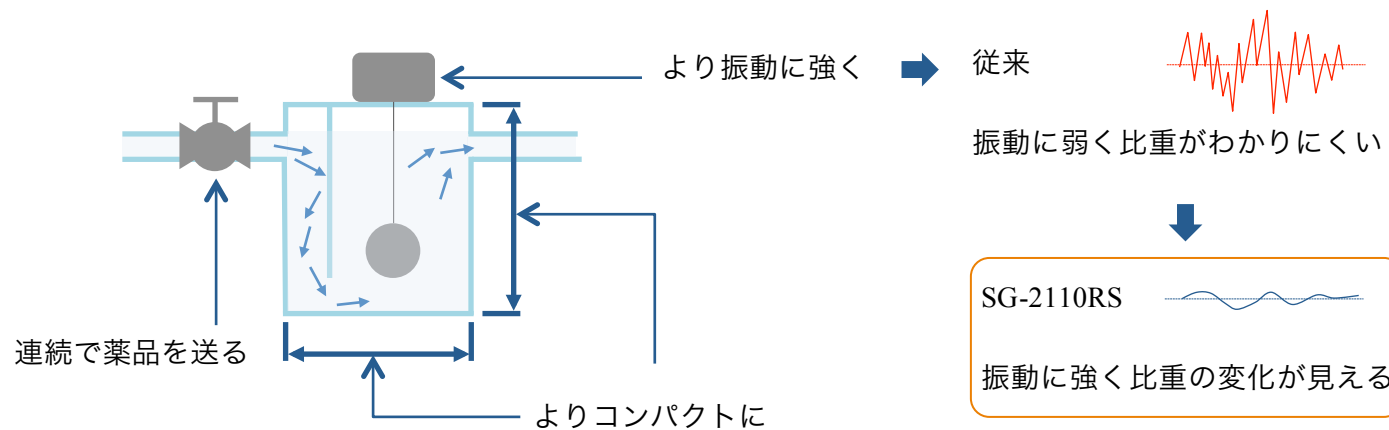
SG-2110RS は高感度歪ゲージを採用し 2.2 という広い比重範囲を一つの重量のあるロードセルで実現しています。また流入する薬品により生じるロードセルの振れによる測定への影響を抑えるため、デジタルフィルター処理技術を持っています。フィルターによる応答遅れを極力抑え、比重の変化のみに素早く追従するようにしています。

安定した測定の恩恵

振動に強いという特徴はプロセスの改善において大切な仕様です。その影響は、例えば従来薬液流入による振動を抑えるための容積の大きいチャンバー設計、測定を安定させるための流入量制御機能など、これら測定に付帯する設備をコンパクト化、簡素化するためには必須で、それを実現するために必要な仕様となります。

この仕様により測定チャンバー設置面積の縮小、測定プロセスをバッチ式から連続測定へと改善することも可能となり、正確なプロセス薬液の比重変化の把握、プロセスに付属する流体制御機器の削減あるいは簡易化を行い、最終的に装置の部品コストの削減、制御プログラムの工数削減、保守の手間の削減（適切な部品削減による劣化箇所の削減）を図ることができます。

改善ポイント例



タンク容積の削減により濃度変化の迅速化をすすめ、より実際のプロセス濃度に近い値を早く知ることができます。これにより実際の比重変化への応答を改善し薬品供給量の安定化、適正化を進めます。

製品のお問い合わせ先：技術営業部 3 課 サンテックス製品技術営業

メール toiawase@tactec.co.jp

電話：0297-83-0721